

平成 25 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス						
教科目名	参加のデザイン	担当教員	大前貴裕 (非常勤)			
学年学科	5 年 建築学科	後期	選択	1 単位		
学習・教育目標	(D-3・創生) 100%		JABEE 基準 1 (1) : (d)			
授業の目標と期待される効果： 建築計画・地域住環境において、重要度を増している協働型（住民参加・利用者参加）の計画手法について、建築計画のプロセス及び計画方法を実践的に理解を深める。具体的には参加型建築計画についての講義と集合住宅における住民参加型計画の演習を通じて、住民参加の意味および設計のプロセスを習得することとし、以下の項目を目標とする。		成績評価の方法： 課題提出 100 点（個別計画 30 点＋全体計画 70 点）とし、総得点率（100%）によって成績評価を行う。なお、個別計画は個人評価、全体計画は班別評価とする。				
1. 協働型建築計画の意味およびプロセスの理解 2. 協働型建築計画における個別性を理解し、計画に反映できる。 3. 協働型建築計画における全体性を理解し、各種の関係を調整できる。		達成度評価の基準： 評価の重みは①を 3 割、②を 7 割とする。総合得点率が 60% を超えていること。				
		1. クライアントの要求に応じた個別の住戸計画をまとめることが出来る。 2. 個別性を生かしながら、意見をまとめ、配置・住棟計画に反映できる。				
授業の進め方とアドバイス： 住民参加・利用者参加の手法をより実践的に理解するために演習を中心に実施する。ただし、設計の授業ではないので、建築の精度よりも、むしろ計画的視点を重視する。						
教科書および参考書： なし。						
授業の概要と予定： 後期						
第 1 回：住民参加・利用者参加型建築計画の意味、方法、計画上留意すべき点 班分け、居住者フェイスシートの作成						
第 2 回：KJ 法の解説と KJ 法を活用したワークショップの進め方						
第 3 回：演習 住要求の把握・コンセプトの作成						
第 4 回：講義 住戸のプランニング						
第 5 回：演習 個別住戸の設計 1						
第 6 回：演習 個別住戸のクライアントへの提案・ディスカッション						
第 7 回：演習 個別住戸の設計 2						
第 8 回：演習 個別設計を考慮した全体計画の調整						
第 9 回：演習 個別住戸のクライアントへの提案・ディスカッション						
第 10 回：演習 個別設計および全体計画の調整						
第 11 回： "						
第 12 回：講義 住民参加／利用者参加の事例、ワークショップについて						
第 13 回：計画のまとめ						
第 14 回： "						
第 15 回： "						
制作課題の発表、講評						
第 16 回：フォローアップ（期末試験の解答の解説など）						